

平成21年12月14日

周南市長

島津幸男様

周南市行政改革審議会

会長 中谷孝久 印

周南市行政改革大綱実施計画進捗状況(平成20年度実績報告)について(答申)

平成21年11月24日に開催された周南市行政改革審議会において、周南市行政改革大綱実施計画進捗状況(平成20年度実績報告)の報告を受け、その内容を審議し、下記のとおりまとめましたので答申します。

記

- 1 周南市行政改革大綱実施計画進捗状況(平成20年度実績報告)について(答申)

別添のとおり

以上

周南市行政改革大綱実施計画進捗状況  
(平成 20 年度実績報告)について (答申)



平成 21 年 12 月

周南市行政改革審議会

## 周南市行政改革大綱実施計画進捗状況(平成 20 年度実績報告)について

( 答 申 )

「周南市行政改革大綱実施計画進捗状況(平成 20 年度実績報告)」について、平成 21 年 11 月 24 日、周南市行政改革審議会にて審議、検討した結果を次のとおり答申として取りまとめました。

周南市行政改革大綱の平成 20 年度末時点での計画達成率は、94.2%となり、概ね順調に達成率を上げてきている。

しかしながら、昨年からの世界的な金融危機を発端とした景気後退の中、本市の財政状況は厳しさを増しており、行政改革の果たす役割はさらに大きくなってきている。

また、一方で行政改革の取組は、コスト削減を目指す「量の改革」のみならず、行政サービスの生産性の向上や市民満足度を高める「質の改革」が重要視されてきている。

周南市行政改革大綱の計画期間は平成 21 年度までで、平成 22 年度からは第 2 次行財政改革大綱が引き継ぐことになるが、これまでの取組の質を高めつつ、さらなる行政改革を進める必要がある。

これらの状況を踏まえ、特に次頁に掲げる 4 項目については、速やかな対応を求めるものである。

整理番号	実施計画項目
2 1	職員提案制度の確立
<b>審議会意見等</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が提案しやすい方法の検討が必要である。</li> <li>・小さな改善であっても、積み重ねて全部署で行うことにより、大きな効果が期待できるため、職員提案のねらいを明確にし、PRを図られたい。</li> <li>・採用されなかった提案も大切に取り扱い、事業としては採用しなくても、積極的に他の改善に利用できる工夫をされたい。</li> </ul>	

整理番号	実施計画項目
2 6	地域情報化の推進
<b>審議会意見等</b>	
<p>地域情報化の推進は、ケーブルテレビ網の整備が完了したらよいというものではなく、行政情報、緊急情報、福祉情報等のコンテンツについて、市民のニーズを把握しながら、求められている情報の発信に努められたい。</p>	

整理番号	実施計画項目
3 1	窓口サービスの向上
<b>審議会意見等</b>	
<p>接遇マニュアル「さわやかサービス向上ガイド」を活用した接遇研修を正規職員のみならず、窓口業務に従事する嘱託職員や臨時職員にも行い、接遇マナーの向上に向けた取組を図られたい。</p>	

整理 番号	実 施 計 画 項 目
3 8	審議会等の運営方針の策定
<b>審議会意見等</b>	
<p>審議会等の委員の選任に当たっては、市民参画の推進を図るという趣旨を鑑み、必要以上に経歴や資格に高い要件を設けずに、広く市民が参画できるよう配慮されたい。</p>	

# 周南市行政改革審議会

参考

## 委員名簿

敬称略

団体等の名称	役職名	氏名	備考
学識経験者	徳山大学名誉教授	中谷 孝久	会長
学識経験者	徳山高専准教授	小川 仁志	副会長
周南地域労働組合総連合	幹事	岩本 利彦	
連合山口周南地域協議会	事務局長	河村 幸生	
周南市市民参画推進審議会	委員	野村 静男	
周南市政治倫理審査会	委員	國澤 千佳子	
熊毛地区更生保護女性会	会長	小松 峯子	
かの高原開発株式会社	監査役	寺戸 光政	
市民	公募委員	小林 三弘	
市民	公募委員	隅 麗子	
市民	公募委員	谷野 正昭	